

地域ふれあい サイエンスフェスタ

2022

ヒトの耳には聞こえない超音波という音を体に当て、その反射を検知して内臓を見る検査が超音波検査です。病院では肝臓や腎臓の検査や、お母さんのお腹の中にある赤ちゃんを見たりします。

レントゲン検査では骨と肺を見たりしますが、

レントゲン検査は放射線を使うので

あまりたくさん検査すると体に害があります。でも超音波検査は体に害がありませんので、

何度でも検査できます。病院では超音波検査はお腹以外にも、心臓、乳腺、甲状腺などを

見るのに広く使われています。私たちが将来、診療放射線技師になって病院で働いたら、

患者さんの超音波検査をします。

この展示では、まず初めにファントムという実験道具を使ってどんな風に超音波画像が見えるかを

お見せします。次にもっと精巧な人形ファントムを使って、体の中の肝臓、胆嚢、脾臓、腎臓など

の内臓が超音波検査でどんなふうに見えるかを体験していただきます。



京都医療科学大学
Kyoto College of Medical Science